

週刊 明るい小矢部

赤旗 読者通信 改題
2009.8.16
通巻 No. 974
日本共産党
小矢部市委員会
市内七社 245
Fax 67-4842

何でも
ご相談を



市議会議員
砂田喜昭
Tel. 67-4322



参議院議員
井上哲士

衆議院議員
笠井あきら

党市政策委員長
石山忠義
Tel. 67-3525

党県政対策委員
上田ゆみ子
Tel. 68-2106

禁無断転載
複写配布

「比例代表は日本共産党へ」

志位委員長、駆ける

いよいよ8月30日投票で総選挙がたたかわれます。日本共産党は弱いものいじめの自公政権を退陣に追い込み、国民が主人公の新しい国づくりをめざして奮闘します。



日本共産党は富山3区(小選挙区)に候補者を立てず、定数11の比例代表選挙・北陸信越ブロックで、「なんととしても1議席を」と力を集中してたたかいます。

志位委員長は8月4日東京で、来日していた国連総会議長と「核兵器のない世界を」と会談した後、富山へ富山市で「日本農業を壊滅に追い込む日米自由貿易協定(FTA)に断固反対、日本農業を守る」と記者会見しました。

その後富山駅前前で街頭演説に立ち「比例代表は日本共産党へ」と訴えました。

志位氏は、①国民の生活を守る「ルールある経済社会」②憲法9条を生かす「自主・自立の平和外交」の二つの基本政策を紹介し、消費税を上げなくても、雇用、年金、医療、教育などの充実を実現できることを示しました。

富山駅前前で訴える
志位和夫委員長(中央)
山口典久比例候補(左)
佐伯めぐみ比例候補(右)



高岡駅前でする
井上さとし参院議員(右)
佐伯めぐみ比例候補(左)

上水道施設調査 市議会産業建委

市議会産業建設常任委員会は8月10日、小矢部市の上水道が各家庭に届くまでの施設の現状を把握し、改善点を確認するため、現地視察をしました。

視察した主な施設は、子撫川浄水場(県の施設)子撫川水道管理所。子撫川ダムの水を浄化し、水道用水として小矢部市、高岡市、水見市(送っている)、小矢部市城山配水池(県水をここで受け入れて市内各地へ配水している)、南部管理所(城山配水池の水をここでポンプアップして蟹谷配水池へ送っている)、金屋本江の自己水源井戸と東部管理所地下水をくみ上げて桜町配水池へ送っている)などです。

県水を減らし、自己水を活用するには

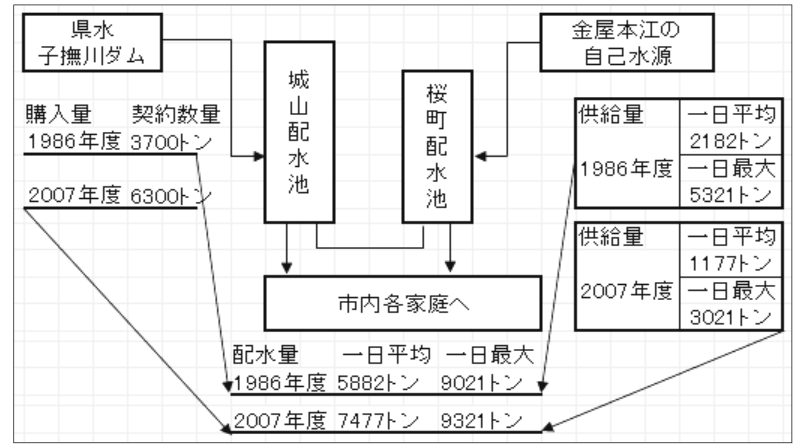
県営子撫川浄水場 浄化能力 一日6万トン

子撫川浄水場では、県企業局の職員より、浄水場の仕組みについて説明がありました。子撫川ダムの水を着水井(ちやくすいせい)で受けて、木の葉などのゴミをとって、横流式沈殿池で水の中のゴミや泥を沈めて取り除きます。その後、急速ろ過池(砂と砂利の層)を通して、沈殿池で取れなかった小さなゴミを取り除き、消毒して浄水池へ送ります。浄水池は地下の施設で、きれいになった水を一時ためておく施設です。

県の説明によると、この浄水場では、沈殿池・ろ過池が4系統あり、これで子撫川ダムからの水、日量6万トンを浄化できますが、今は水の需要がないので4万トンの水を送っています。

課題は県水と自己水の 水源の融通を図ること

県から買う子撫川ダムの原価の高い水を減らして、原価の安い金屋本江の自己水源をもつと活用するには、砂田市議は今後市として、調査、改善を図る課題があると指摘しました。それは、県水を受水している城山配水池と金屋本江の自己水源から受水している桜町配水池の水を融通し合う方法についてです。上水道の需要が急に増えたとき、金屋本江で自己水源をくみ上げて城山配水池の水位を補うのにかかる時間を、いかに短縮するかです。



しかし、これまでの実績からしてできないことではありません。今から23年前の1986年度には、市が各家庭に送った上水道用水は、一日平均配水量5882トン、一日最大配水量9021トンでしたが、県水の受水量は日量3700トンでした。不足分の一日平均で2182トン、一日最大で5321トンは金屋本江の自己水源でまかなうことができた実績があります。

2007年度では、一日平均配水量7477トン、一日最大配水量が9321トンで、県水の受水量は6300トンでした(2008年度から6050トン)。不足分は、一日平均で1177トン、一日最大で3021トンです。現在の市の施設でもまだ自己水源を活用できるはず(図参照)